

Pippin Prep LEDキャリブレーション方法について

2013.2.21
Rev2.1
Software v5.80 CD4
日本ジェネティクス(株)

＜キャリブレーションが必要な場合＞

ここでは、キャリブレーションフィクスチャーを用いたPippin Prepのキャリブレーション方法について、ご説明いたします。

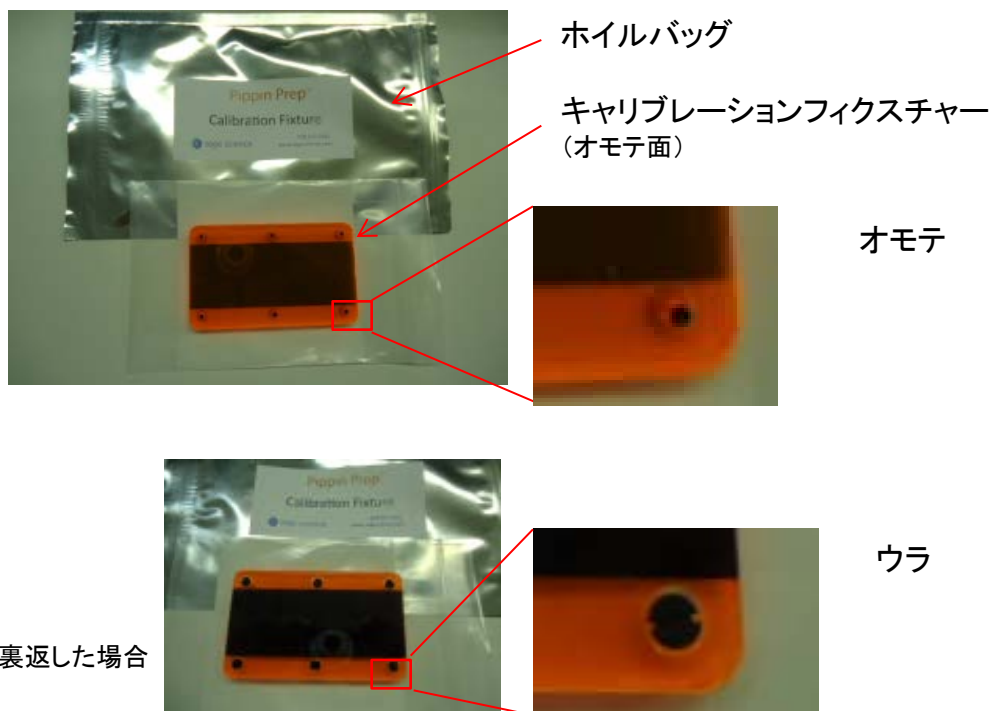
以下のいずれかに該当する場合には、必ずキャリブレーションを実施ください。

- ① その日の一番最初のランを実施するとき
- ② ゲルカセットの種類を変更したとき
- ③ Pippin Prep の設置場所を変更したとき

*** マーカーDNAを安定的に検出するため、全てのラン前に実施いただくことをお勧めします。**

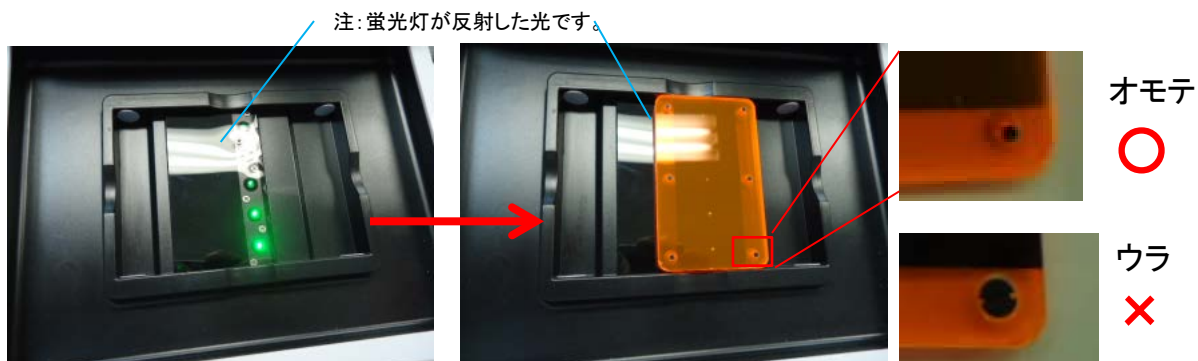
(1) キャリブレーションフィクスチャーを準備します。

キャリブレーションフィクスチャーには、オモテ・ウラがありますので、ご注意ください。
また、キャリブレーションフィクスチャーを使用しないときは、必ずホイルバッグに入れて保管ください。



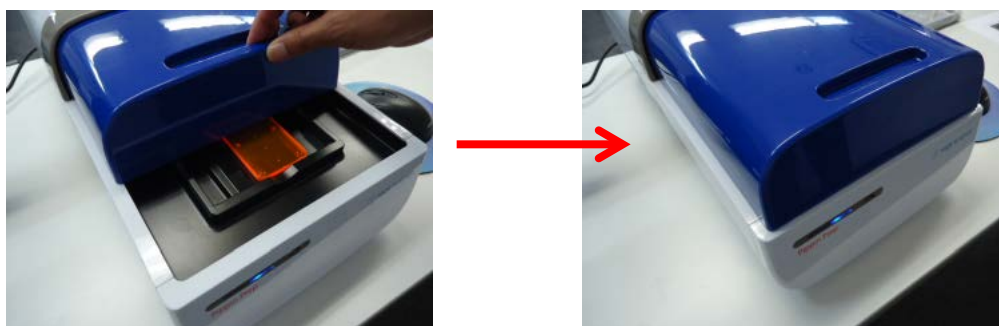
**注意： キャリブレーションフィクスチャーは有機溶媒に弱い素材でできています。
アルコール等の溶液と接触させないでください！**

(2) 装置本体にキャリブレーションフィクスチャーをセットします。



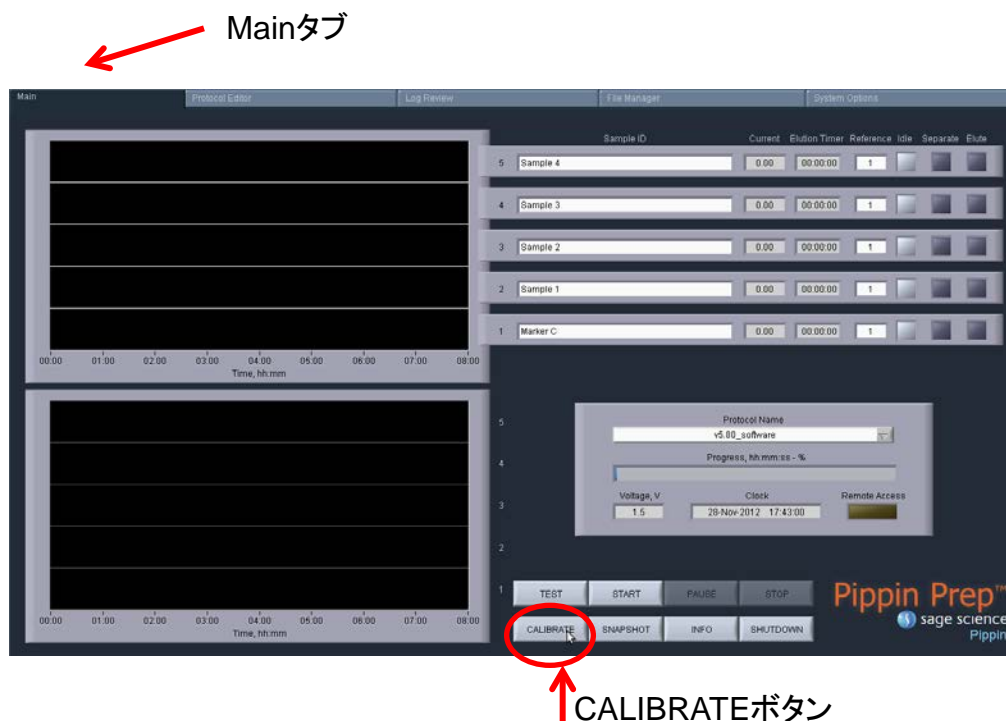
本体のLED光学検出部位に、オモテ側*の面が上面に見えるようにセットします。

* (1)に記載されているキャリブレーションフィクスチャーのオモテ・ウラの確認方法をご参照ください。

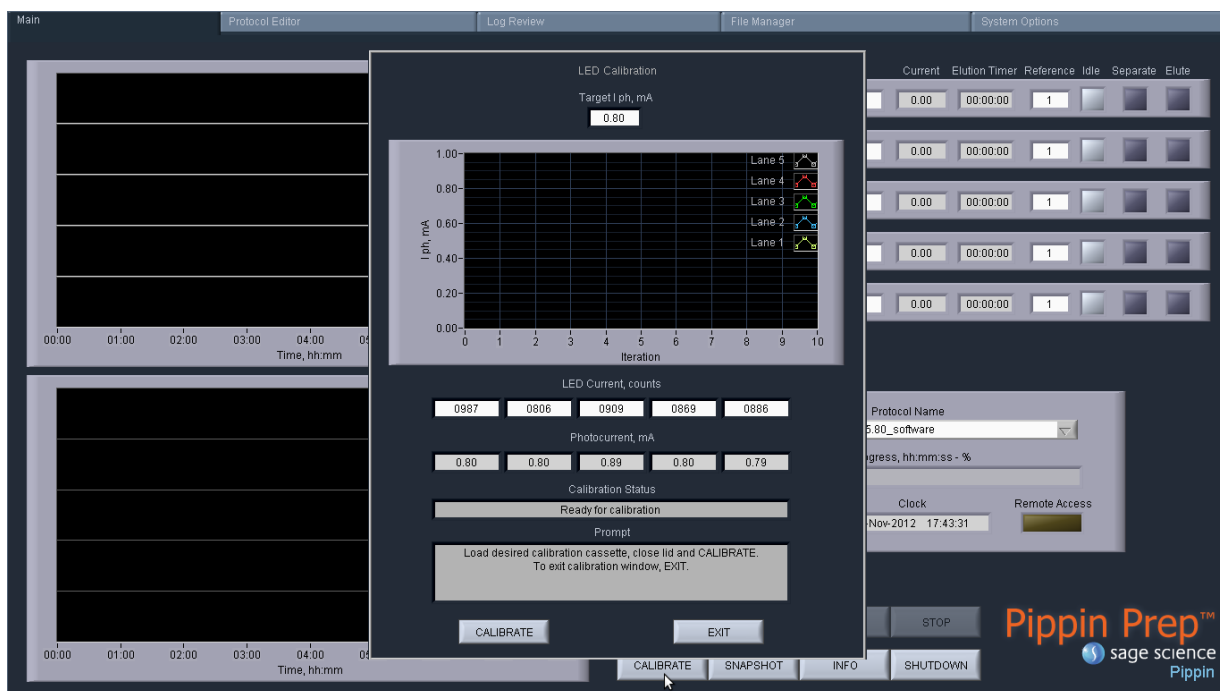


セットしたら、本体のフタを閉めます。

(3) Mainタブを表示し、CALIBRATEボタンを押します。

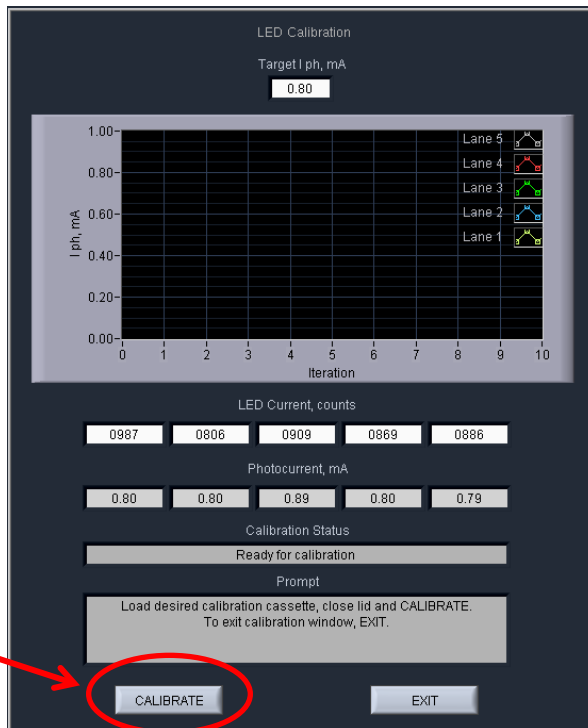


(4) LED Calibration画面が表示されます。



(5) CALIBRATEボタンを押してキャリブレーションを実施します。

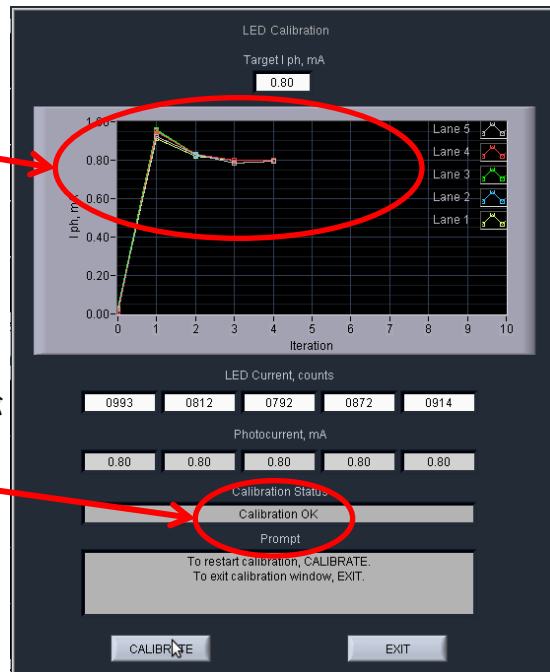
CALIBRATEボタンを押します。



(6) キャリブレーションが実施されます。

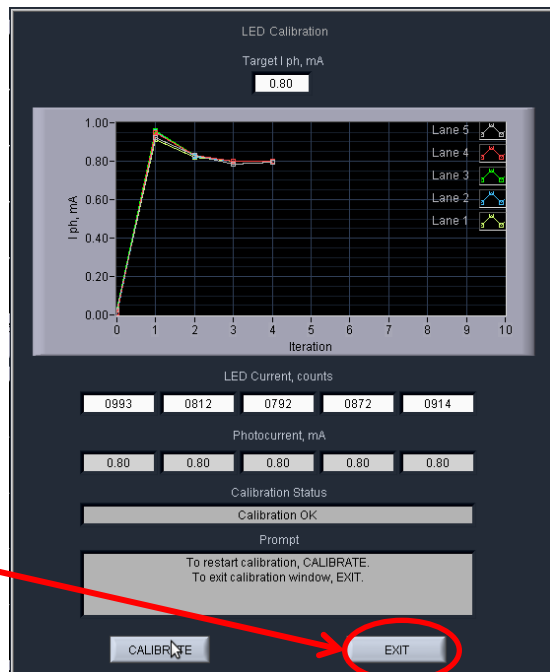
- ① キャリブレーションの状況がグラフで表示されます。

- ② 終了すると、“Calibration OK”が表示され、キャリブレーション結果が画像データ(pngファイル)で自動保存されます。



(7) EXITボタンを押して終了します。

EXITボタンを押します。



(8) キャリブレーション・ウィンドウを閉じてから、キャリブレーションフィクスチャーを本体から取り出し、ホイルバッグに入れて保管します。

以上でキャリブレーション操作は終了となります。